



## ハンガリー共和国 Republic of Hungary



### たばこ産業の特徴

- 1994年以降、ハンガリーのシガレットの消費量は、小売価格の値上がりと共に減少している（2000年の販売本数は210億本）。
- シガレット製造数量は1994年の295億5,600万本から次第に減り始めており、1999年の製造数量は230億本、それ以降は横這いである（2001年は231億本）。  
たばこ企業は品質改善に投資している。
- ノンフィルタ製品は極めて少なくなっており、ライト製品が増えている。
- 2大メーカーはBAT（シェア39.7%）とPhilip Morris（同30.1%）である。
- 2001年7月から印刷物によるたばこの広告は全て禁止。  
他の全てのメディアによる広告（ビルボードを含む街頭広告）は、2002年1月から全面的に禁止された。シガレット広告はたばこ小売店だけに残る。
- 政府は重要な雇用源であるために、国内たばこ産業の減少を防ごうとしている。

### [1] 法規制等

#### 警告文等：

包かの側面へ記載する健康注意表示の大きさと警告文のローテーションが法律に規定されている。  
タール、ニコチン含有量をパッケージに表示する必要あり。

#### 喫煙場所規制：

1999年の新しい反喫煙法により、映画館、劇場等公共の建物内では禁煙、レストランでは喫煙ゾーン設置が必要になった。

デパート、食品マーケット、セルフサービスのレストラン、売店、菓子屋、小中学校、健康施設、公共輸送機関では喫煙規制。

ハンガリー航空の近距離路線は全て禁煙。

1993年の労働安全法は、全ての職場に特別な喫煙場所を設けること、あるいは受動喫煙の害を減らすために適切な措置を取ることを規定している。

喫煙違反者に対して最高117ユーロの罰金。

雇用者やレストラン所有者は喫煙エリアを設けないと最高390ユーロの罰金。

#### 販売規制：

1999年の新しい反喫煙法により18歳未満の者への販売は禁止された。

1993年の規制法により、たばこには特殊なシールを貼り、特定の小売り店でしか販売できない。

路上販売は違法である。

#### 広告規制：

テレビ、ラジオ、映画、新聞雑誌によるシガレット広告は禁止。

広告に健康注意表示の義務あり。

2001年7月から印刷物によるたばこの広告は全面禁止。

他のメディアによる広告（ビルボードを含む街頭広告）は2002年1月から禁止された。

シガレット広告はたばこ小売り店だけになる。

この新しい法律は、EU加盟国は2001年7月から全てのたばこ広告を禁止することを求めるEU指令に沿うものである。

2006年までは、たばこ企業にスポンサーを頼っている主要スポーツ・イベントは規制から除かれている。

国際テレビ・チャンネルと外国語による出版物の広告は規制から除外されている。

#### 販売促進活動：

サンプリングは禁止。スポンサーは禁止。

カフェやバーでの商標入りのコースターや灰皿は認められているが、パラソルは禁止。

小売店のウインドに写真を展示することは禁止されているが、製品を展示することは認められている。

#### 喫煙規制運動の動向：

コミュニティーによる初の反喫煙運動は1960年代に始まった。

1987年以降、国家健康促進センターが運動を統合している。

NGOの全国禁煙協会も反喫煙運動に関わっている。

「世界ノーたばこデー」は毎年行われている。

## [2] 税制

- 小売り価格に占める税率は約61%（1999年）で、トルコ（77%）、ポーランド（61%）に次いで比較的高いが、EUに比べれば税率は低い。  
平均小売り価格もEU諸国に比較すれば安い。  
税率の引き上げの余地はあるとされる。  
EUに加盟する前に税金を引き上げる必要が出て来るであろう。
- 1999年のハンガリー政府のシガレットからの税収は5億2,200万ドル、総歳入に対しては3%で、ヨーロッパ・中央アジア地域ではシガレットの税収に依存する割合は一番低い。

### シガレットの小売価格に対する税率

従価税	小売価格の17.00%
付加価値税	同 20.00%
特別税	1000本当たり10.86ドル
小売価格に対する税率	60.8%

### たばこ製品の関税率（従価税）

葉巻	48%
シガレット	57.6%
パイプたばこ	57.6%
シートたばこ	57.6%

- 原料葉たばこの関税  
2000年の葉たばこに対するMFN関税は51.2%（オリエント葉は32%）。  
割当てTRQ関税と総割当て数量は6,528トンで変化はない。

## [3] 喫煙者プロフィール

- 1994年以降15歳以上の喫煙者1人当たりの喫煙本数、トータル消費本数は共に減少している。  
ヨーロッパ・中央アジア地域内ではハンガリーの1人当たり喫煙本数は中位である。  
年間119包かを消費（1999年）。  
ハンガリーは年間1人当たり103ドルをシガレット購入に支出しており、これは平均製造業従事者の給与の1.7%に相当する（1999年）。

### 喫煙者率（1999年）

18歳以上の成人男性	44%
同成人女性	27%
11～15歳の男子	9%
同 女子	6%

（出典：Central Statistical Office & Dr. L.Pakozdi.WHO, etc）

## [4] 市場概況

- 1989年の共産主義崩壊以後、ハンガリーは東ヨーロッパで最も好ましい産業ロケーションの一つになった。  
ハンガリーは全ての大手シガレット企業のターゲットになっており、市場が解放されると多国籍企業が直ちに市場へ参入してきた。  
ハンガリーは東欧ではEU加盟の有力な候補者の一つである。  
たばこ企業は、税制調和とたばこ規制が将来のたばこ製造や消費に影響することを懸念している。
- ハンガリーの1970年のシガレット消費本数は225億200万本、1994年には285億7,900万本、1999年が227億本、2000年は210億本。  
1994年以降15歳以上の喫煙者1人当たりの喫煙本数とトータル消費本数共に減少している。  
これはシガレットの小売り価格が値上がりしているためである。
- 1999年のハンガリーのシガレット消費量はヨーロッパ・中央アジア（ECA地域）の約2%を占めている。
- シガレット製造数量は1961年の167億9,300万本から、1994年には295億5,600万本に増えたがそれ以降は減少しており、1999年の製造数量は230億本（2000年は231億本）になったが、これは主に国内需要が減ったためである。  
たばこ製造に従事している人員も減っており、1999年には2018名であり、1990年の43%になっている。
- 業界は品質改善に投資している。  
ノンフィルタ製品は極めて少なくなっており、ライト 製品が増えている。
- 市場リーダーはBATで39.7%のシェア、次いでPhilip Morrisが30.1%、Reemtsmaが21.5%、V.Tabacは8.1%である（2000年）。
- シガレットの輸出量は年間35～40億本である。  
主な輸出先は旧ソ連邦と中近東である。
- 正式の輸入は主にギリシャ、フランス、ベルギーからで、2000年は5億本が輸入された。
- 密輸や「個人輸入」シガレットは、前年の20～30億本から1999年には10～15億本に減っているが、これは税関の取締り強化と税金徴収が強化されたためである。  
闇市場のシガレットは主にウクライナ、ルーマニア、中近東から入ってくる。

## シガレット・データ (単位 100万本)

	1995年	1998年	1999年	2000年	2001年
製造数量	28,900	26,800	23,000	23,100	23,300
輸入数量	300	300	300	400	400
輸出数量	1,400	3,400	4,000	3,500	4,000
輸入シェア	1.10%	1.30%	1.60%	2.00%	2.00%

## 製造内訳 (単位 100万本)

	1998年	1999年	2000年
フィルタ付き製品	25,100	21,660	21,800
ノンフィルタ製品	1,700	1,300	1,200

(出典 Gain Report 2000)

## [5] 製品概況

- 市場における3大ブランドはBATのSopianae (シェア35.9%)、Philip MorrisのMultifilter (同13.0%)、ReemtsmaのSymphonia (同10.2%)である。
- Sopianaeは1960年代に発売されたブランドで、バージニア葉とオリエント葉のブレンド品である。Symphonia (タール12.5-18mg、ニコチン0.7-1.0mg) は典型的な国産ブレンド・シガレットである。
- 世界的なライトシガレットの傾向を反映して、このセグメントのシェアは42%に増えている (1999年)。

## ブランド・シェア

	1999年	2000年
<b>British American Tobacco</b>	36.6	39.7
Sopianae	33.4	35.9
Pall Mall	2.9	3.4
その他	0.3	0.4
<b>Philip Morris</b>	32.3	30.1
Multifilter	14	13
Helikon	9.8	9.3
Marlboro	7.4	6.7
Eve	0.5	0.5
L&M	0.4	0.4
その他	0.2	0.2
<b>Reemtsma</b>	23.6	21.5
Symphonia	12.7	10.2
Fonix	6.7	6.6
Mustang	3.1	3.5
その他	1.1	1.2
<b>V-Tabak</b>	7	8.1
Pannonia	3.3	3.5
P20	2.9	3.7
Kossuth	0.4	0.4
Munkas	0.3	0.2
Hungaria	0.1	0.2
<b>JTI</b>	0.2	0.2
Camel	0.2	0.2
<b>消費本数</b>	<b>227億本</b>	<b>210億本</b>

(出典: Maxwell Report)

## [6] 流通

以前はDohesckと云う流通網が100%支配していたが現在のシェアは30%以下になり、新たに指定された複数の流通業者が残り70%以上を取り扱っている。

国内製品にはタックス・スタンプを貼ることが義務付けられている。

不法シガレットの流入は取締りの強化により、以前の年間20-60億本から、10~15億本に減っている。

## [7] 企業概要

国営の4つのシガレット工場は全て民営化され、BAT、Reemtsma、RJR(JTI)、Philip Morris が取得した。ハンガリーの2大メーカーはBATとPhilip Morrisである。

## BAT Pecs Dohanygyer Kft :

BATがPecs工場を買収して設立した会社である。

BATが株式の92.6%を保有し、残りは従業員が持っている。

ハンガリーの主要ブランドであるDebrecen及び、Egar工場でライセンス製造されていたSopianaeブランドの権利も取得し、両ブランドの品質向上を計り、集中的にキャンペーンを行い再発売した。

また、Sopianaeのファミリーをライト、メディアム、キングサイズに拡大し、再発売は成功した。

Sopianaeのシェアは35.9%でハンガリーのトップ・ブランドになっている。

主要銘柄はSopianae、Pall Mall、Lucky Strike。

製造本数は90億本。

ハンガリー市場のシェアは39.7%。

その他の投資先として、British American Tobacco Magyarország Dohany Kereskedelmi Kftがある。

#### Philip Morris Hungary Ltd:

Eger Tobacco Co.LtdのEgar工場を100%所有している。  
Egar工場は民営化前から、Marlboro、L&M、PM Multifilter、Menphis、Milde Sorte等のブランドを製造していた。  
主要銘柄はMultifilter、Helikon、Marlboro、Eve、L&M、  
製造数量は100億本。ハンガリー市場のシェアは30.1%。

#### Reemtsma Debreceni Dohanygyar Kft :

Reemtsmaの子会社であり、1992年に製造数量85億本のDebrecen工場を取得して市場参入した。  
ハンガリー第2位の人気製品Symphoniaブランドを獲得。2000年のSymphoniaのシェアは10.2%である。  
工場設備の近代化のために中期的には4,200万ドルを投資している。  
主要銘柄はSymphonia、Fonix、Mustang。  
製造数量は90億本。ハンガリー市場のシェアは21.5%。

#### JTI (RJR) :

1992年6月にSatoraljaujhely工場を100%買収しCamelを製造している。  
1994年末にライセンスが切れるまでは、ハンガリーブランドのMunkas、Kossuth、Symphoniaを製造していた。  
主要銘柄はCamel。ハンガリー市場のシェアは0.2%。

### [8] 葉たばこ事情

- ハンガリーはオリエント葉とバレー葉、刻など、葉たばこ原料の純輸入国である。  
たばこ産業の従事者は非常に少なく、急速に減少している。
- 2000年は耕作面積、収穫量共に多少増加したものと見られている。  
国産葉に対するシガレット産業の需要減のために、キュアリング会社は契約農家の数を減らしている。  
キュアリング会社は、EUの品質規準に合わせることができると大規模なハイテク生産者に購買努力を集中すると予想される。
- 国産葉の生産量はシガレット製造需要の約1/3をまかなっている。  
ハンガリー政府は2002年までに国内産比率を50%に引き上げたいとしている。
- ハンガリーの葉たばこもEUへの今後の加盟の影響を受けている。  
EUに加盟すると、EUからのより多くの補助金付きの生産割当を認められるであろう。  
EUの生産割当はEUに加盟する前3年間の平均生産量になる。  
1996年のハンガリーの葉たばこ生産量は7,100トン、1999年は12000トンに急増している。
- 耕作面積は1万ヘクタール、収穫量は1.3万トン、潜在生産能力は2万トン。  
黄色種が50%、ダークエアール/サンキュアール葉が45%。

葉たばこ生産統計データ (単位 トン)

	1998年	1999年	2000年
生産数量	12,500	12,000	11,800
輸入数量	18,000	19,100	18,000
輸出数量	2,000	2,000	2,000

(出典 Gain Report 2000)

### [9] 展望

ハンガリーは比較的スムーズに市場経済に移行し終えたが、葉たばこ生産とシガレット製造数量は1998年以降減少し始めている。

シガレット価格上昇と反喫煙対策により、今後需要は減ると思われる。